



雨の中を元気に疾走

## 昭和中マラソン大会開催

昭和中学校では5月17日、マラソン大会を実施しました。

大会は、総合運動公園をスタート・ゴールとし、女子は3キロ、男子は5キロにそれぞれ挑戦。

大会当日は小雨が降る肌寒い天気でしたが、生徒たちは沿道に集まった保護者らの声援を受けながら、マラソンコースとなった望郷ラインを快走しました。

**主な結果(敬称略)▶女子 優勝**：星野杏(1年)、**準優勝**：鈴木愛美(2年)、**第三位**：林千寿(3年) ▶**男子 優勝**：斉藤圭寿(3年)、**準優勝**：吉澤英琉(1年)、**第三位**：フンティアユリ(3年)

## 筋トレ上級に認定

森下上組区民館では5月10日、らくらく筋トレ体操の上級認定式が行われました。

認定式では14名に上級認定証が贈られ、認定式の後にはお茶飲み会で交流しました。

森上サロンの皆さんは、毎週水曜日の午後1時30分から、らくらく筋トレ体操に取り組んでいます。男性の参加者が多く、活気に溢れています。



森上サロンの皆さん

## グラウンドゴルフ大会開催



熱戦を繰り広げる参加者の皆さん

昭和村体育協会グラウンドゴルフ部(廣田忠一部長)の主催による第1回グラウンドゴルフ大会が5月15日、村総合運動公園グラウンドゴルフ場で開催されました。大会は、村内各地区の老人会等から41チーム、124名が参加。当日は霧のかかった肌寒い日でしたが、熱戦が繰り広げられ大いに盛り上がりました。

**主な結果(敬称略)▶個人優勝**：堤孟男、**準優勝**：竹之内甚一郎、**第三位**：新木タカ ▶**団体優勝**：糸井中央A、**準優勝**：貝野瀬長寿会、**第三位**：椽久保B

## 絵本とオカリナを楽しむ

第二保育園では5月16日、オカリナ・アンサンブルグループ「クレイトーン」(奥田紗規子代表)のメンバー3名による、オカリナと絵本を楽しむ会が開かれました。音の高さが異なる3種類のオカリナによる「大きな古時計」や「千と千尋の神隠し」のテーマなどが演奏され、澄んだ音色に子どもたちは大喜び。新木邦江さんによる絵本の読み聞かせでは、「パパお月さまとって」が雰囲気たっぷりのオカリナ演奏を背景に披露され、楽しい時間を過ごしました。



読み聞かせに聞き入る園児たち

## 初めての田植え体験



田植えをする平安小の子どもたち

村と友好協定を結ぶ横浜市の平安小学校5年生128名が5月25日に来村し、田植え体験を行いました。子どもたちは泥に足を取られながらも、楽しみながら苗を植えていました。秋には、このお米を使い餅つきをする予定です。

## 交通ルールの大切さ学ぶ

南小学校と第一・第二・子育ての3保育園では、5月10日から6月1日にかけて、交通安全教室を実施しました。

南小学校では、自転車の実技テストなどを実施。また第二保育園では、交通安全の紙芝居などで交通ルールを勉強した後、園庭や道路で横断歩道を渡る練習を行いました。



自転車実技テスト(南小学校)



横断歩道を渡る練習(第二保育園)

## 石井さん親子が優秀賞



優秀賞を受賞した石井さん親子

「利根沼田地区親と子の良い歯のコンクール」の表彰式が5月26日、利根沼田保健福祉事務所で行われました。

村からは、石井友季さん、迅くん親子(上内出)が出席し、最優秀賞を受賞しました。

石井さん親子は、3月16日に村公民館で行われた「良い歯の子と育てた家族」の表彰式で表彰を受けた46組の家族から、村の代表としてコンクールに出席しました。

コンクールの審査では、子どもの歯や歯肉、清掃状態などをチェックします。

## 命のつながり アサガオに託す

第一保育園では5月31日、年長児31名が「命のアサガオ」の種まきを行いました。

これは、国際ソロプチミスト利根ぬまた(角田郁子会長)が行っている事業で、平成5年に白血病の為、わずか7歳で亡くなった新潟県の丹後光祐君が育てていたアサガオの種を受け継いでいき、骨髄バンクの普及を訴えるために活動しているもの。園児たちは事前に絵本で「命のアサガオ」を学びました。

石井園長は「園児たちとアサガオの成長を楽しみながら、命の大切さを再確認していければ」と思いを語りました。



種を植える園児たち